

・区分	31000 ハード部門（共通）
タイトル	クレーンと一体化した立入禁止柵
動機・改善前の状況	クレーン移動時に、その都度立入禁止措置を行うので、作業開始までに手間と時間がかかる。
改善・実施事項	単管とクランプを使って柵を作り、それをキャッチクランプと単管を利用してクレーンのキャタピラ部（不動箇所）に固定し、常時立入禁止エリアが設置されるようにした。
改善効果	一度取付ると常に立入禁止措置が取れるので、手間と時間の節約になる。また、設置を忘れることがない。
活動内容 改善事項の図、 写真	 
事例提供先	小田急建設(株)